

平成30年度 地球の子ども株式会社

Montessori ちゃいるどほうす草薙事業報告

平成31年3月26日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1. 事業目的と役割

国から示された「子ども子育て新制度」に基づき、全ての子どもたちが平等に教育を受けられるように養護と教育の一体化を図りながら、環境を通して子どもと大人が主体的に関わる保育を行い、又、保護者との連携を図りながら共通理解を持って地域の子育て支援を充実させるために、必要な援助を行う。

2. 保育所の運営

(1) 沿革・経営組織

(別紙参照)

(2) 開所日

月曜日～土曜日

(3) 開所時間

7:30～18:30

(4) 休園日

日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始(12月29日～1月3日)

法人が特別必要と認めた日

(5) 年齢別入所児数

0歳児 7名

1歳児 7名

2歳児 5名

合計 19名

(6) 職員数

11名 (園長1名 常勤保育士6名 パート保育士2名 バイリンガル講師1名 調理員1名)

(7) 職員資格等

保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・調理師・モンテッソーリ教育専門教師・

子育て支援員・保育所主任保育士研修修了

(8) 職員会議の開催状況

組織としての各分野のリーダーの育成と配置、各職員が専門性を認識発揮できる役割分担の徹底と協力体制の弾力化を目標に以下の会議を開催。

- ・職員全体会議（年1回4月）
- ・業務会議（第1、第3火曜日の午睡時）
各行事の内容検討と反省、クラス毎の給食会議、月案に基づく環境会議、安全管理、危機管理、ヒヤリハット、事例検討
- ・研修会議（第2、第4火曜日）
モンテッソーリ教育基礎研修、月案に基づく環境研修会議
- ・給食会議（各クラス年4回）

(9) 職員研修についての取り組み

- ・円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他、各種研修を積極的に実施。（研修実施状況は別紙参照）
- ・職員の研修参加費用、旅費、交通費全額支給、宿泊の場合出張手当あり
- ・毎月の園研修参加者には勤勉手当を支給（半日 2000 円、一日 7000 円）
- ・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修（毎月1週間）
- ・モンテッソーリ教師資格取得希望者にはコース費用全額補助
- ・新人研修（4月水戸ちゃいるどはうす森の保育園にて2・3週間）

(10) 職員の保育計画・記録について

一人一人の成長発達にあった環境づくりを達成する為に、個別の月案、週案、日報（0歳児～2歳児までの観察記録）の作成。

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）

(11) クラス編成について

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）
個別の発達段階に合わせた保育を推進するため、0歳から3歳までの成長を4段階に分けた環境構成の充実を図る。

(12) 給食の実施状況

（乳児）園児の発育状況に合わせた離乳食から普通食への給食の実施

（1歳児以上）園児の発育状況に合わせた完全給食の実施

（2歳児以上）バイキング給食

（保護者）給食参観会

（特別給食）行事ランチ・年度末お弁当バイキング

（給食献立表）毎月配布

(食育) 子どもと食べ物の10の健康な関係の提案

- ① 離乳期を大切に過ごす。
- ② 子どもが食べたくないことを大切に考える。
- ③ 無駄な間食をしない。
- ④ 食事の時間を楽しい時とする様に努める。
- ⑤ 食べてしまうよう強制しない。
- ⑥ 食事を処罰に使わない。
- ⑦ 食事のルールは守る。
- ⑧ 食べ物を粗末にしない。
- ⑨ 子どもが自分の量や、好みの選択ができる余地がある事。
- ⑩ 食事を楽しむ事

以上10項目の子どもと食べ物の健康な関係の提案をしながら、子どもの健康で健やかな身体作りを目標に、安心安全な楽しい給食の提供に努めると同時に、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食事を楽しみ合う子どもに成長することを目標に食育給食を推進。

(13) 健康管理の実施

- ・医師による園児の健康診断
村上小児科(村上 仁)年2回実施
- ・歯科医師による園児の歯科検診
かめやま歯科(亀山 太一)年2回実施
- ・身体測定 毎月1回
- ・職員の定期健康診断 年1回
- ・職員の検便検査 月1回

(赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157・腸チフス・パラチフス)

(14) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にして、積極的に乳幼児の子どもを育てるのを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように、以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスを実施。

- ・相談室の開設(常時)
- ・子育て講演会の実施(4月)
- ・ホームページでの情報公開と更新(常時)

- ・掲示板での情報公開と更新（常時）
- ・連絡帳（随時）
- ・園だより（月1回）
- ・クラスだより（季節ごと）
- ・子育て参考資料の配布（不定期）
- ・その他便り（不定期）
- ・苦情解決システム設置
- ・地域の各機関との連携

（15）地域との交流

- ・近隣住人の方々とは、公園遊びや散歩の途中で挨拶をしたり、季節の植物や果物などをいただいたり、一緒に遊ばせてもらったりと自然な交流を楽しんだ。
- ・日本平動物園は親子遠足の場所として毎年恒例で楽しい行事として交流。

（16）施設の整備

- ・0歳児クラスの棚の設置
- ・玄関ドアの修理
- ・セコムセキュリティーサービスの加入
- ・防犯カメラの設置

（17）機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理
（食料・水）

全園児・全職員3日分昨年度購入済み

（避難用具・災害時用品）

前年度購入済み

AEDの設置1台（毎年更新）

（18）非常災害防止の実施状況

避難消火訓練 毎月一回 不審者訓練 毎月一回

交通訓練 園外活動時毎回実施

（19）第三者委員会の設置

掲示板・ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置

（20）感染症予防対策

- ・次亜塩素酸を使って床、教具の消毒（一日2回実施）
- ・次亜塩素酸消毒液スプレーの4か所設置で即座に消毒
- ・おむつ交換は、使い捨て手袋を使用
- ・おむつの持ち帰り無し（園で処分）の実施
- ・加湿空気清浄器の設置
- ・温湿度計の設置

- ・洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外）
 - ・手洗い、うがい指導の実施
- (21) 須藤商会の第三者消火設備点検確認済み（年間2回）
- (22) 行政監査（11月）
- 指摘事項なし

3. 保育方針

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、3つの視点、5領域の相互関係、小学校までに育ててほしい10の姿の総合的関わりを重視し、モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させた内容で、世の中にある、ありとあらゆる子ども達の興味関心を実際に体験することで、全ての子どもが持っている『生きる力』を子ども達自身が発見し、育成していく場を愛と知識を持って提供する。

4. 30年度保育目標について

- ・たくさん遊べる 元気な身体が育つよう
- ・自分の事を自分でやりたい意欲が育つよう
- ・自分で感じて自分で考える楽しさが育つよう
- ・物事に感動する 豊かな感性が育つよう
- ・人を思いやる 優しく強い心が育つよう
- ・生きる力を子ども自身が育成できるよう
- ・大切な一人の人間としての全人格の形成

5. 保育方針

養護と教育の一体を図るために以下の特別教育を実施

❖自然教育

子どもたちが自然の不思議さや素晴らしさに出会い、発見する機会をできるだけ多く提供できるように、小動物に触れたりプランターで植物を育てたりしながら、できるだけ毎日の散歩を設定した。ありのままの自然を体験しながら、自然の一部である自分を愛する心と尊い自然を守る気持ちを育んでいく。

（生物活動）

散歩の途中や公園で見つかったり、保育士に見つけてもらったりした『かたつむり』、頂いた『コクワガタ』を園内で飼育し、えさやりや水替えなどの世話をしながら毎日成長を見守った。

（プランター活動）

子どもたちと一緒にプランターに土を入れるところから始め、草花のお世話

をする園芸活動をしてきた。チューリップの球根や、ビオラ、パンジー、サンパ
チェンスなどの水やりをしたり、摘んでお部屋に飾ったりの活動を続けた。

野菜の栽培では、かぼちゃ、ブロッコリーを育て、できたブロッコリーは給食
時に調理して提供した。

(散歩)

杉道公園、一里山西公園、茶畑、ローソン上公園、一里山東公園、新草薙
公園、村上医院裏遊歩道、えんぴつ公園、門前公園、草薙神社、首塚神社等

❖モンテッソーリ教育 (全クラス)

子どもの発達の課題は、運動の獲得・言葉の獲得・意志の発達・知性の発達・
社会性の発達・感覚の発達等、共通している。それらの発達の課題は、大人が教
えるのではなく、子どもが興味のあるものに自分から体を使って感じて動きを
通して獲得されていく。発達の課題は、時期と順番があらかじめ子どもの遺伝子
にプログラムされていて、子どもに内在している『自己教育力』により、適切な
環境に関わることによって健やかに成長していく。このベースになる考え方は、
マリア・モンテッソーリが 100 年以上前に子どもを観察し子どもから発見した
ことであるが、現在は、医学や科学が進歩し、子どもは安心安全な環境との適切
な関りかたによって成長するという事が証明され、世界で共通の考え方になっ
ている。

子どもの発達の課題は共通していても、発達の速度や個々の興味関心は様々
であるため、今年度も『モンテッソーリ教育法』の考え方をベースに子どもが主
体的に個々の発達に見合った環境と関わりながら成長できるようにという願い
を込めて環境を整えた。

❖バイリンガル教育 (全クラス)

日々、進化していく世界を感じ、新しいものや考え方を受容し、応答しなが
ら、あらゆる違いを受け入れられるたくましい精神を育てていく。バイリンガ
ル教育導入により言葉の違い、文化の違い、感じ方の違い、考え方の違いなど、
いろいろな自分と他者の違いを体験しながら豊かな心とグローバルな平和教
育を目指して取り組んだ。

❖クッキング (ピッコロから)

毎週のクッキングで今年度は以下の物を作っておやつなどでいただいた。
バナナの皮むき、梅ジュース、みかんの皮むき、枝豆の皮むき、ゆで卵の殻む
き、クラッカーサンド、シャーベック、フルーチェ、ピザトースト、おにぎり、
五平餅、お好み焼き、たこ焼き、カップケーキ、餃子の皮のピザ、ふかし芋丸め、
スウィートポテト、たたききゅうり、クッキー、ホットケーキ、白玉団子

❖戸外活動

・デッキ活動

水遊び、滑り台、乗り物遊び 等

- ・散歩や、公園遊びなどを通して、季節を感じたり、体を存分に動かす楽しさを味わったりする。

6. 特別教育会計報告

* 30年度モンテッソーリ教育費会計報告

(収入) 保護者徴収費 199,000円 (協力金にて毎月一人1,000円)

(支出) 研修費 311,680円

講師代 140,000円

支出合計 451,680円

収入－支出＝ －252,680円 (園負担)

* 30年度バイリンガル教育費会計報告

(収入) 保護者徴収費 199,000円 (協力金にて毎月一人1,000円)

(支出) 講師代 289,050円

収入－支出＝ －90,050円 (園負担)

7. 主な行事

5月 こどもの日

親子遠足 日本平動物公園

6月 保育・給食参観会

7月 七夕

中吉田と合同地域子育て支援『英語 de ベビーリトミック』

8月 中吉田にて合同夏祭り

9月 中吉田にて合同乳児親子レクリエーション大会

10月 ハロウィン

11月 中吉田と合同運動会 (中吉田公園)

12月 クリスマス会

中吉田と合同地域子育て支援『わらべ歌 de ふれあい遊び』

1月 お楽しみ音楽会

2月 節分

3月 ひな祭り

はばたきの会

8. 新たな取り組みの実施について

- ・夏祭りを実施
- ・運動会を実施
- ・乳児親子レクリエーション大会を実施
- ・地域子育て支援を実施

9. 来年度の新たな取り組みの計画

- ・自然教育の充実
- ・園外活動の充実